

森林に囲まれた盛岡で木のある暮らしを

MADE IN MORIOKA



盛岡の面積の約7割は、さまざまな樹種で構成された豊かな森林が占め、森林に恵まれた市といえます。

森林は、木材を生み出すだけでなく、水源かん養、土砂災害の防止、地球温暖化の抑制、動植物の生態系保全など、私たちの暮らしに欠かせない大切な機能を持っています。

この森林の機能を健全に保つためには、「伐る→使う→植える→育てる」という好循環を進めることが重要です。

暮らしの中に盛岡の木を使うことが、森林の好循環を進め、そのことが私たちの暮らしを守ることに繋がります。あなたも、触れたり使ったり、盛岡の木のある暮らしを始めませんか？



いわて木づかい運動ホームページより

盛岡の木を使った新たな事業に 取り組む皆さんを紹介！

森と人とまちの合間をデザインでつなぐ

ima Design Lab | 松森木工所 松森政仁さん

家業が木工所で小さい頃から木が身近にありました。お客様の要望に真摯に向きあった、オーダー・オリジナルの木製建具・家具づくりをしており、新たにインフィル家具※1の開発に取り組んでいます。

樹種が豊富で木の地産地産ができるのが盛岡の魅力。木の良さを感じて自分で作ったり地元の作り手の製品を選んだりすることがもっと身近になるよう、市産・県産材の製品やそれにまつわるストーリーを発信しながら、盛岡手づくり村での工房体験などを通じて、ものづくりの裾野を広げていきたいです。



※1 暮らしの変化に合わせて、パーツを組み合わせるようにより形を変えて使い続けられる家具

木が醸し出す食生活の彩り

株式会社やまもり 小嶋智巳さん

前職の木材流通商社で経木と出会い、独立後、本格的に普及活動を始めました。最盛期は全国に700以上あった経木工場ですが、現在は十数社、北東北では岩手の1社のみです。

経木は無塗装・無添加の「木そのもの」です。比較的簡易な機械で地元の木を使って生産でき、最大の魅力は日常の中で気軽に使えて簡単に捨てられること。木が食生活に溶け込むことで、プラスチックではなく木を使うことや地元の木を使う意味などを考えるきっかけにもしてほしいですね。

生活を潤す木の魅力を通して、循環資源としての木の役割も伝えていきたいです。



薄くスライスした木がお皿代わりに。料理を経木の上にと盛りつけるだけで食卓が華やかになります。

市の制度

「木のある暮らし」をすすめる補助制度

市では市産材※2や木質バイオマスの利用促進を目的に、下記の補助制度を整備することで、木のある暮らしや森林資源の循環を推進しています。

※2 盛岡市内の森林から生産された木材のこと。



詳細は市ホームページへ

市産材利用住宅等支援事業 住宅の新築・増改築・リフォーム工事に市産材を使用する場合、最大30万円を補助します。

市産材利用店舗等支援事業 店舗などの新築・増改築・リフォーム工事に市産材を使用する場合、最大20万円を補助します。

薪ストーブ設置費補助事業 住宅や店舗に新しくまきストーブを設置する場合、住宅で最大15万円、店舗で最大50万円を補助します。



ここから始まる新たな森林づくいで木をもっと身近に！ 広がる森林・林産物活用のアイデア

盛岡市森林づくりイノベーション事業

- 事業者名、プロジェクト名
- Holz 平山貴士**
デザイナー小泉誠と家具屋 Holz の椅子プロジェクト
 - 工房 夢蘭・花 主宰 江見夏恵**
南部赤松を活用した「もりおか森の恵みクラフト」の開発事業
 - 株式会社浅沼醤油店**
木材を活用した新しい調味料の製造・販売事業
 - 松森木工所 代表 松森政仁**
循環型デザインで森と人とまちの合間をつなぐ：ima Design Lab のインフィル家具プロジェクト
 - 株式会社やまもり**
〜つかって美味しい 見て楽しい〜 経木文化復活プロジェクト
 - 株式会社斎藤商事**
盛岡市産材利用の移動式販売器具「木輪」のレンタル、販売事業
 - とうめいしっぽ 新田紗希**
子どもと盛岡の森の未来を育む、木のおもちゃの商品化



詳細は市ホームページへ



デザイナーとタッグを組み、市産材を使ったイス製作のモデルとなるイスで、座面・背もたれ・脚の三叉構造が特徴的

木の温もりで子育てを応援

とうめいしっぽ 新田紗希さん

木がたくさんある岩手で、地元の木でできたおもちゃがないのはなぜだろう、と思ったのが始まりでした。

使う木によって特徴が出る木のおもちゃは、シンプルゆえに壊れにくく、遊び方も自分で考えられます。使い込むほど色も手触りもよくなり、過ごした時間の尊さを感じられますし、大人も興味を持ちやすいのも魅力だと思います。子どもだけでなく親御さんを癒やすようなおもちゃを作りたいですし、市産材で作ることを通じて地元の木について考えるきっかけにもしたいですね。



10種の木材で製作した木のコイン。触ったときの手触りや大きさ、色味にこだわっています。

イベント情報

動物が暮らす森の公園

～ZOOと一緒に森づくり～

日時 11月9日(土)～10日(日)
10時～15時半
事前申し込み不要

周りを森林に囲まれた“里山の中にある動物公園”ZOOMO。里山再生と動物の関わりについて知ることができる、林業イベントを開催します。

イベント内容

- イマワシ・里山講座 ● 間伐デモンストレーション
- まき割り体験 ● オリジナル図鑑作成
- 薪炭、きのこなどの飲食・物販ブース
- 木工ワークショップ

ほかにも「里山」に関連する企画が盛りだくさん！詳しくは市ホームページをご覧ください。



- 会場：盛岡市動物公園ZOOMO (盛岡市新字下八木田60-18)
- 主催：もりおか自然共生の森林づくり実行委員会 (構成団体：盛岡市、岩手県、もりおかパークマネジメント、岩手県森林組合連合会、盛岡広域森林組合、岩手県林業団体青年部連絡協議会)

市の状況

森林環境譲与税の活用状況

市では、令和元年度から森林環境譲与税を活用し、主に森林の航空レーザー計測・解析など森林整備の促進に向けた準備を進めてきました。令和6年度からは、森林の循環利用を進めるため、木材や森林資源の利用促進、林業の担い手確保の取り組みにも力を入れています。

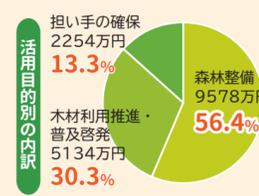


詳細は市ホームページへ

令和6年度の活用予定(当初予算)

活用額合計	1億6966万円
国からの配分額	1億2122万円

※活用額合計と配分額との差額4844万円は、令和元～5年度までの活用残額(1億6480万円)を充てるものです



市長コラム

盛岡の木のある暮らしは、日常を豊かにし、私たちの地域を守ることに繋がります。さらには、脱炭素や脱プラスチックといった地球規模の課題の解決にも貢献します。皆さんもそれぞれのライフスタイルに合わせて、暮らしの中に木を取り入れていきましょう！

盛岡市長 内館 茂